

統計からみえる練馬区の自殺の問題

1 自殺者数としては、男性が多い。

働き盛りの50代、40代の順に多く、自殺の原因・動機では、「健康問題」の次に、「経済・生活」となっている。

2 女性の自殺者が増えている。

全国的には自殺者の男女比は7対3だが、練馬区では6対4と女性の自殺が多い。自殺の原因・動機では、「健康問題」の次に、「家庭問題」「男女問題」と人間関係の問題が多い。

3 若者の自殺が多い。

令和2年は特に20代女性の自殺が多かった。

4 高齢者の自殺も多い。

高齢者の自殺率は、全国、東京都において経年で高い状況であるが、練馬区においても同様である。

5 コロナ禍の影響について

令和2年の練馬区の自殺者数は減少したが、令和3年は、増加に転じている。

コロナ禍がもたらした社会の変化（不況による離職者の増加、在宅ワーク、リモート授業、学校や公共施設の閉鎖、人間関係の物理的な距離等々）は、自殺の要因につながるものがあり、コロナ禍が収束したのちの社会情勢にも十分に注視していかなければならない。